

天草郡市対抗駅伝について（回答）

天草市立天草アーカイブズ

●紳士駅伝

天草中学校（現在の天草高校）主催のためコース・参加は本渡中心だが、社会人の駅伝。

第1回目：昭和9年5月27日開催 【参考：みくに S9.6.20】

*目的：海軍記念日（5月27日）を祝して ※海軍記念日は終戦まで制定

*1位：繭市場 2位：本渡小学校（教員） 3位：親荘会 4位：郵便局

以降も海軍記念日付近に行われた。

第4回目：昭和12年5月30日開催 【参考：みくに S12.5.20】

*目的：体育奨励

*申込組の条件：25歳以上の走者5人1組。組の年齢合計145歳以上。（平均29歳）

⇒みくに新聞の掲載は昭和9～12年分のみ。終了年代は不明。

●熊日青年駅伝大会・・・昭和28年3月8日に第1回目開催。平成30年現在も継続。

●天草郡市中学校駅伝大会

天草郡市中体連主催で昭和39年11月21日に第1回目開催。

それまでは県下中学校駅伝への参加メンバーは、熊本県教職員組合天草支部の体育部長会で協議されて決められていた。平成30年現在も継続。 【参考：天草新聞 S31.11.21、同 S39.11.13】

●天草（下島）縦断青年駅伝大会

天草郡市青年団主催で牛深～本渡間をコースとして開催。平成30年現在も改称して継続。

第1回目：昭和50年2月16日開催 【参考：天草新聞 S50.2.8】

*チーム：市町ごとに青年のみのチームか、青年・高校・中学の混成チームを編成

第5回目：昭和54年2月15日開催 【参考：天草新聞 S54.2.7】

*目的：「天草は一つ」を大会の合言葉に、駅伝を通じて天草青年の団結と友情の輪を広げ、青年団の発展を図る。

*参加資格：各町に登録された青年団員であること

⇒平成5～10年の間に大会名を「天草青年駅伝大会」と改称。H11.2.21開催「第25回天草青年駅伝大会」では、目的に「広く社会スポーツの振興に寄与する」ことが加わっている【参考：天草郡町村会等資料12-15-20】。

⇒平成合併前に市民・企業の参加も可能になり、大会名も「市民駅伝」と改称。

●天草市町対抗駅伝大会

本渡市・牛深市・各町体育協会の共催（当初は青年団なども共催）により、昭和54年1月28日に第1回目開催。平成16年頃まで行われた。

*目的：天草島内陸上陣の強化、長距離選手の育成と底辺拡大、島内各市町の親睦融和を図る。

*コース：年代により本渡～苓北町、五和町～天草町、本渡～新和町など異なる。

*チーム：中学生、高校生、29歳以下、30歳代、40歳代は共通し、開催年代によりほかに50歳代や女子など異なる。

●市・町内単位だと、合併を記念してや、公明な選挙活動推進を目的とした駅伝なども行われていた。